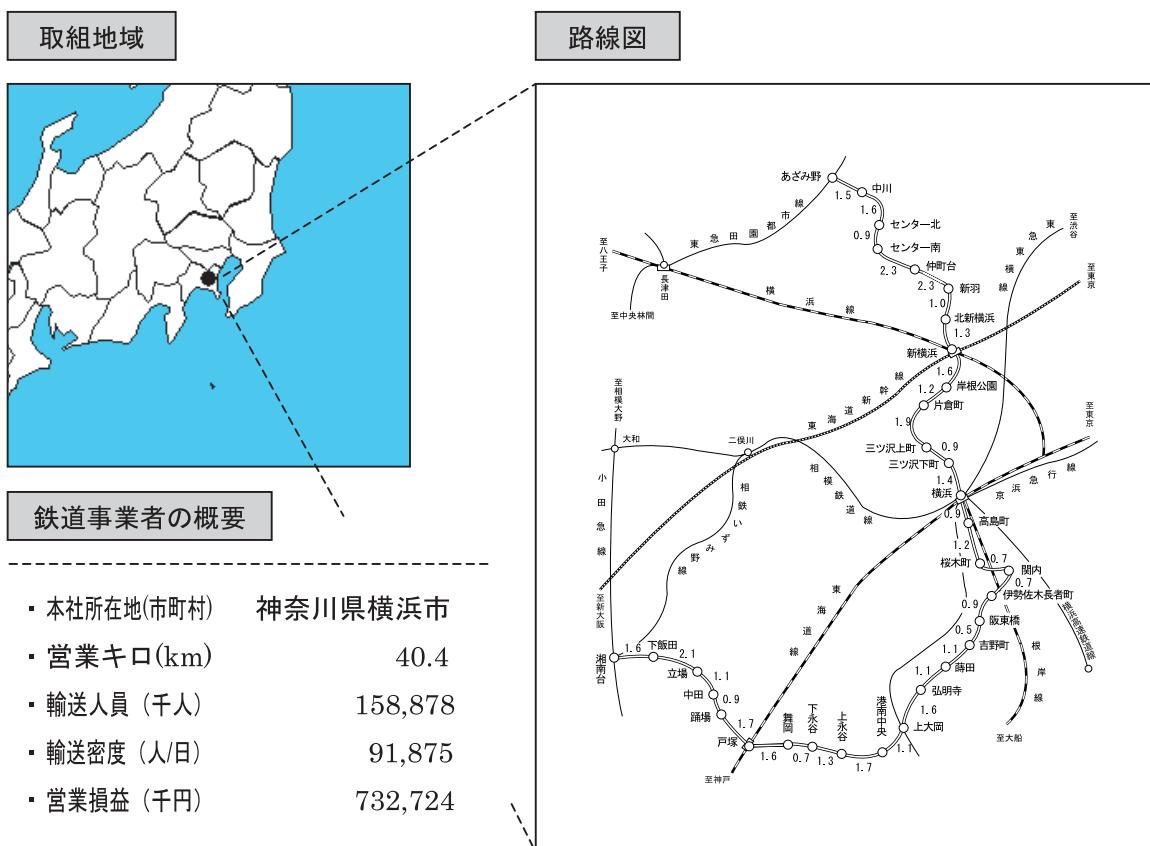


## 12. 駅ボランティアの実施

### 事業者名

横浜市交通局



### 概要

市営地下鉄の駅利用者が高齢者や障害者の乗り換えなどを手助けする「駅ボランティア」事業。

### 協力者・関係者

- ・横浜市身体障害者連合会

- ・ 横浜市視覚障害者福祉協会

## 背景

「善意があっても、車いすの扱い方が分からない」との利用者の声を受け、車いすの方などの手助けするような場面に出会った時に、率先して行動できる駅ボランティアを養成し、誰もが快適に利用できる駅とするため実施することとした。

## 内容

### ◆ボランティアの活動内容

- ・ ホームへの案内、手荷物の運搬、切符の購入、地下鉄乗降の補助（車いす乗車を除く。）、通路や階段の移動支援等
- ・ 駅ボランティア体験会参加者には駅ボランティア証を発行し、活動の際に利用。（提示して駅への入場が可能）

### ◆駅ボランティアの養成方法

- ・ 駅ボランティア体験会の受講（講師による説明及び体験）

平成13年5月 上大岡駅

平成14年5月 新横浜駅 平成15年5月 あざみ野駅

- ・ 体験の内容

疑似体験及び介護体験、車いす乗車体験及び介護、視覚障害者の疑似体験（アイマスク）及び介護、高齢者疑似体験

- ・ ボランティア数

あざみ野駅、新横浜駅、上大岡駅ほかで約1,000名

- ・ 常駐型駅ボランティア

15年8月にあざみ野駅で試行的に実施（24名）



（上）常駐型駅ボランティアが着用するエプロン。

## 効果

ボランティアの方にとっては、養成時の体験やフォロー研修を通じ、体の不自由な方に対する介護方法を習得できるとともに、ボランティア意識も高まるほか、駅利用者の移動をサポートできることから、駅での利便性が高まる。

## 成功の理由

- ・ 駅ボランティアは、駅で困っている人を見かけたらお手伝いをするソフト面での取組であり、いわゆる「心のバリアフリー」を目指している。これにより、高齢者や障害者等の移動をハード面とソフト面の両面から支援することになり、交通弱者の駅利用に不慣れな者の利便性向上に寄与したこと。
- ・ 毎年1回程度10月中旬頃に、各駅の駅ボランティア登録者を対象にフォローアップ研修を開催。平成16年度は10月11日(祝日)に戸塚駅で講演等を実施するなど、施策向上に向けた努力を行っていること。
- ・ 駅車内及び駅構内におけるポスター掲出や、「広報よこはま」や区役所関係にPRのリーフレットを配布用に置くことについて協力を得ることができたこと。
- ・ 駅ボランティアを募集する駅周辺の公的施設や学校及び自治会や商店街等にリーフレットの配布をお願いするなどPRに努めていること。

## 今後の課題

### ◆今後の課題

- ・ 他の鉄道事業者やバス事業にも協力を求め、駅周辺も含めた一体的な取組が必要である。
- ・ 常駐型駅ボランティアの拡大に伴い、運営に多大な労力を要する。

### ◆今後の計画

- ・ 平成16年度に戸塚駅で募集
- ・ 同16年8月にあざみ野駅、新横浜駅、上大岡駅、戸塚駅の4駅で常駐型駅ボランティアを実施。今後ターミナル駅を中心に拡大

## お問い合わせ先

関東運輸局

## 13. 枕木オーナー制度

### 事業者名

平成筑豊鉄道株式会社

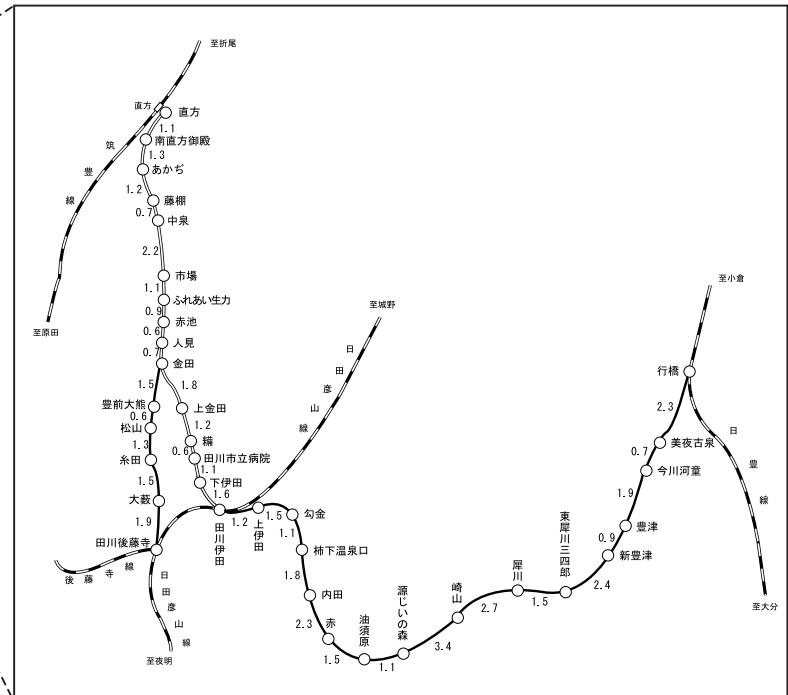
取組地域



鉄道事業者の概要

・本社所在地(市町村)	福岡県田川市
・営業キロ(km)	49.2
・輸送人員(千人)	2,404
・輸送密度(人/日)	1,114
・営業損益(千円)	-11,501

路線図



主な沿線自治体の概要

### 概要

施設保守費用のうち枕木更換費用の一部を負担する枕木のオーナー制度を創設。

[人口(人)] [増減率(%)]

・直方市	60,021	-3.4
・田川市	53,635	-3.6
・赤池町	10,158	-1.1

### 協力者・関係者

- ・軌道土木等関連企業
- ・地方自治体

## 背景

平成元年の開業以来、運行本数の大幅増発、駅の増設などを積極的に行った結果、貨物輸送などもあったことから、好調な経営を続けてきたが、長引く景気の低迷に加え、沿線人口の減少、マイカーの普及などの要因により、近年は旅客数、貨物量ともに減少し厳しい経営状況となっている。その中で、今後、増大すると思われる施設保守費用のうち、枕木更換について、その費用の一部を負担する枕木の「オーナー」になってもらう制度を企画した。

## 内容

- ・ 対象路線：平成筑豊鉄道全線
- ・ 実施時期・期間：平成15年度実績  
第一回・・・7～8月募集、9月更換作業  
第二回・・・9～11月募集、12月更換作業  
第三回・・・12月～2月募集、3月更換作業  
以後、年4回のサイクルで実施予定。
- ・ 価格：5,000円（プレート代金含む）
- ・ 実績：第一回301本、第二回193本、第三回39本、15年度計533本
- ・ その他：オーナーになった枕木には、オーナーの印であるプレートを設置する。  
〔内容〕：文字の制限以外は基本的に自由で、鉄道に対する想いを書く者、各種記念、お店のPRで利用する者もいる。このように、「まくらぎオーナー」を実施することで、地域の人々に鉄道の運営に参画してもらい、沿線地域とより一層の連携を強化することで鉄道、地域の活性化を目指すこととしている。



(上) 平成筑豊鉄道車両。枕木にはオーナーのプレートが張られている。

## 効果

当初は、マスコミ等のPRの効果と、関係企業などの申込み、各社員の営業等により、目標を上回る応募があった。第二回、第三回と申込み本数は減少したが、沿線の人々からの申し込みが増え、「地域との連携」が浸透してきているものと考える。また、平成筑豊鉄道の推進協議会のHPに掲載したことなどから、遠方からの申込みもあった。

### ◆増収実績

- ・ 申込みのあった533本については、オーナーからの入会金をそれぞれ枕木の更換費用の一部に充てた。実質の増収はないが、更換費用の一部をオーナーが負担しているため、経費節減効果がでている。

#### ◆増客実績

- ・直接的な増客は、数字としてあがってはいないが、プレート設置に伴い、普段利用しない者の来駅機会が増えたなどの効果は十分考えられる。

#### ◆周辺地域の活性化

- ・5000円でプレートが設置でき、「オーナー」になれる手軽さなどが受け、沿線でも話題を呼んでおり、文字などに制限をつけているが、実質的には「広告」として利用する者もいるなど、地域の核である「駅」を中心とした地域の活性化に、今後役立っていくものと考える。

## 成功の理由

- ・一般の申込みは、「鉄道への愛着」「人生の節目の記念」などが多数あり、当初は氏名のみを考えていたが、社員から「還暦記念」などの意見が出て、それぞれ申込者の思いを刻むプレートとしたことが、魅力を高めたこと。
- ・プレートの大きさも駅ホームから見て、内容が判別できるよう考慮した。また、入会金については、「更換費用全額」なども考えたが、多くの方に興味を持ってもらい気軽に申し込んでもらうために、5000円と設定したこと。
- ・平成筑豊鉄道(株)並マクラギ(木マクラギ)は伊田線、田川線、糸田線の3線区で10万本敷設されており、毎年約3,000本更換、更換率として約3%程度の更換しか出来ないかった点を、枕木オーナー制の導入することにより、自治体と連携を取りながら地域住民との密着を図り、かつ、列車運行上安全を確保することとしていること。
- ・年間で鉄道施設の修繕費予算は約5千万円程度であるが、これらをマクラギ更換以外にも投入しなければならないため、利用者に、枕木オーナー制の趣旨を理解してもらいながら、材料費だけでも負担してもらい、経費節減に結びつけていること。

## 今後の課題

#### ◆管理について

- ・「更換した枕木のオーナー」というのが基本であり、該当する枕木の次回更換までが「オーナー期間(約10年間)」とし、約10年間管理するために、各回毎に「オーナー名簿」を作製し、管理する。この名簿は担当者の管理と引継ぎが重要。

#### ◆オーナー制度について

- ・現在のところ、駅構内以外の申し込みはほとんどない。本来更換したい駅間の枕木の「オーナー」が増えることを期待しているが、オーナーのニーズとしては「自分のプレートが見たい」という意見が大半を占めるため、今後は駅間の枕木が更換でき、プレートは駅構内に設置するという形を検討。

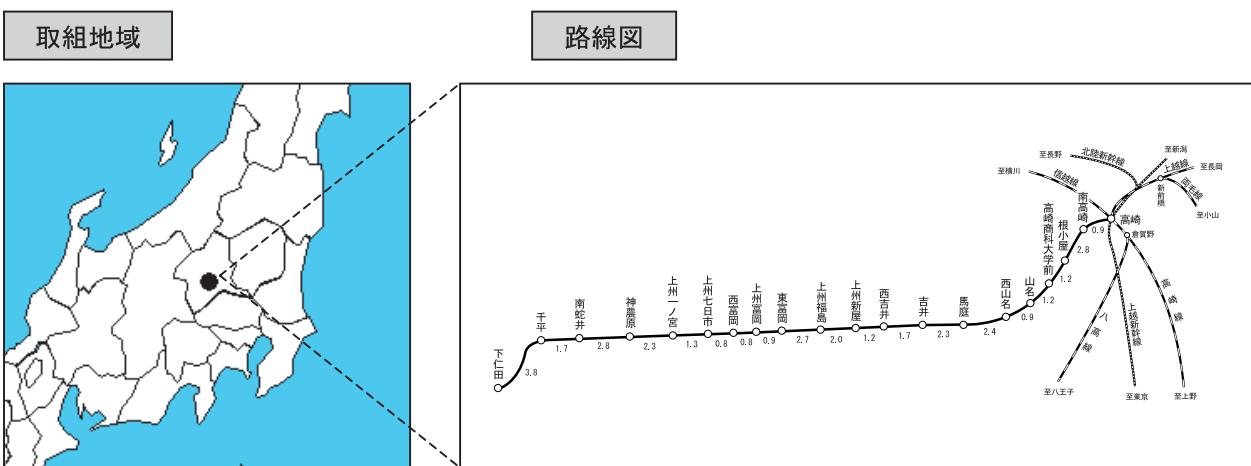
## お問い合わせ先

九州運輸局

## 14. 無料貸し自転車設置

### 事業者名

上信電鉄株式会社



### 鉄道事業者の概要

・本社所在地(市町村)	群馬県高崎市
・営業キロ(km)	33.7
・輸送人員(千人)	2,573
・輸送密度(人/日)	2,921
・営業損益(千円)	-117,418

### 主な沿線自治体の概要

#### [人口(人)] [増減率(%)]

・高崎市	242,359	1.5
・富岡市	49,556	-0.4
・吉井町	25,630	2.6

### 概要

主要5駅に電車利用者に無料貸し自転車を設置。(吉井・上州福島・上州富岡・上州一ノ宮・下仁田各駅)

### 協力者・関係者

- ・ 地方自治体 群馬県、富岡市、甘楽町
- ・ 各報道機関 上毛新聞、ちいき新聞、群馬よみうり新聞等

## 背景

平成8年度に群馬県自転車活用整備事業費補助金を受け、鉄道利用客減少を止めるために上州富岡駅(15台)・上州一ノ宮駅(10台)合計25台設置した。自転車を利用することにより、駅と商店街や観光名所を身近にすることで、サービス向上並びに利用者の増加を期待した。実施後、利用者が増加したことと、利用者より設置駅を増やしてほしいと要望が多数あったため、沿線自治体の協力を得て設置駅を5駅(合計33台)増やした。



(上) デキ誕生80周年記念列車。

## 内容

### ◆上信線

吉井駅5台 駅自転車置場に設置 (15年2月)  
 下仁田駅7台 駅前自転車置場に設置 (15年2月)  
 上州福島駅8台 甘楽町が設置 (10年3月)  
 上州富岡駅10台・上州一ノ宮駅3台 富岡市が自転車置場と共に設置 (8年10月)  
 合計33台  
 ※自転車貸出料金は無料。

## 効果

年間利用台数	平成14年	555台
	平成15年	978台
一年で2倍近く利用者が増加。		

## 成功の理由

- 各報道機関(上毛新聞、ちいき新聞等)・自治体(県、高崎市、吉井町、甘楽町、富岡市、下仁田町、妙義町、南牧村)にお願いし、新聞・広報等に掲載したこと、また、チラシを作成し鉄道利用者に配布し宣伝したことにより、取組の認知度があがったこと。
- 利用料金が「無料」であり、駅からの買物や観光などに便利であったこと。

## 他のモードとの連携

- ・ 群馬県自転車活用整備事業費補助金制度は、自転車は誰でも気軽に利用できる交通手段であり、鉄道・バス等と連携を図ることによって、公共交通機関の積極的な利用を促すことを目的として市町村に交付するものであり、本取組の趣旨が理解され、今回制度活用が可能となったこと。
- ・ 自転車には2個の鍵(自転車自体と固定したバーと自転車をつなぐもの)をつけたことから自転車の盗難・紛失については、発生しておらず、メンテナンスコストがネックとなっていないこと。

## 今後の課題

### ◆今後の課題

- ・ 自転車の紛失・盗難時の処理
- ・ 修理等の維持費（上州福島駅の自転車のみ甘楽町で費用全額負担。他の自転車は上信電鉄が負担（保険料金））。

### ◆今後の計画

- ・ 設置台数を増設（沿線協議会で平成16年度14台増）

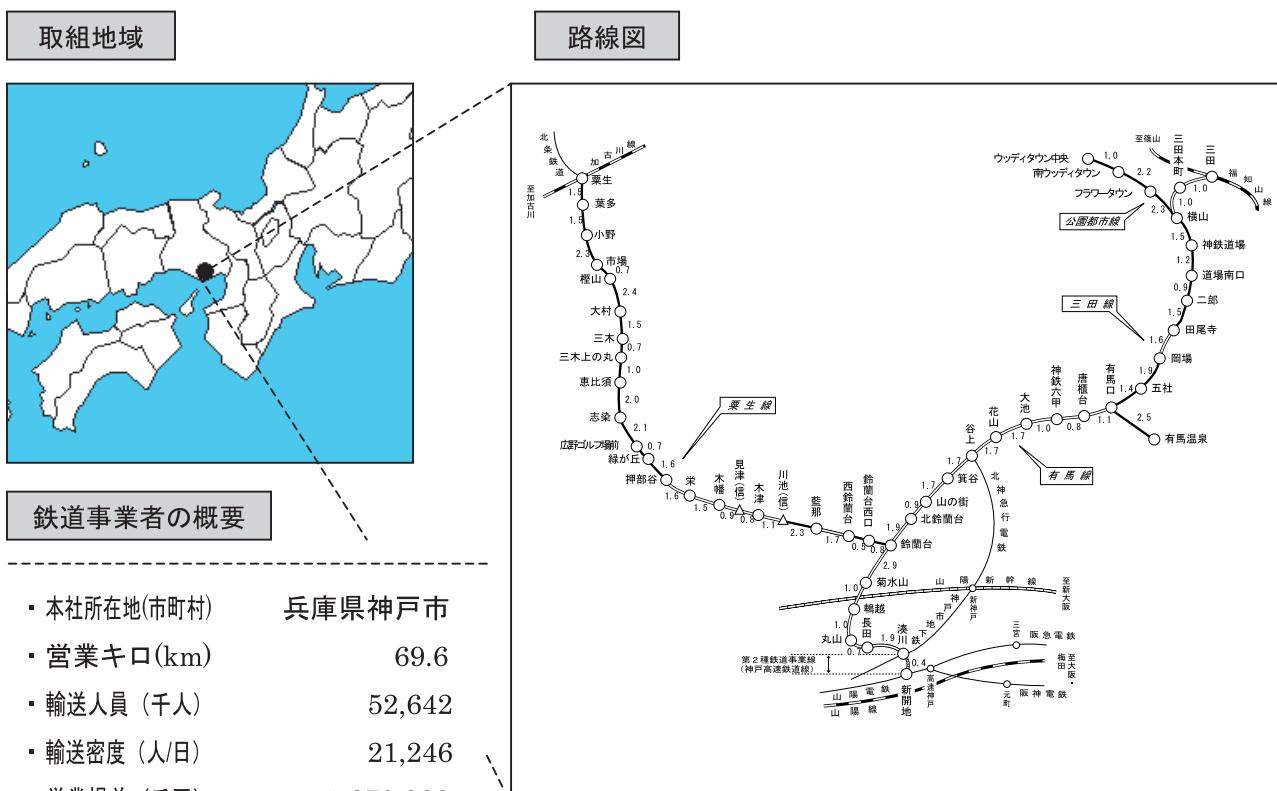
## お問い合わせ先

関東運輸局

## 15. パーク＆ライド方式の駐車場経営

### 事業者名

神戸電鉄株式会社



### 概要

神戸電鉄株3・6ヶ月定期券を持っている利用者に一般駐車料金より割り引いた料金で駐車場を提供する。

### 協力者・関係者

- ・ 地方自治体
- ・ 公共企業体

- ・ 駅近隣の土地所有者

## 背景

鉄道利用者の自宅から最寄駅までの交通アクセスを向上し、鉄道利用者の増加を図るとともに、地球環境問題対策（市街地での排気ガス汚染・渋滞等の軽減・緩和）の一環として導入した。

## 内容

- ・ 3・6ヶ月定期券を持っている利用者は、一般月極駐車料金の20～30%割引で駐車場を利用する。
- ・ 時間貸駐車場では定額の1日利用料金（最終電車まで）を設定し、日帰りの買い物、出張、旅行等に同駐車場に駐車の上、鉄道を利用する。
- ・ 設置箇所：沿線9駅12箇所（内、時間貸駐車場2箇所）
- ・ 設置開始：平成11年12月から随時拡大・利用状況 平成16年1月現在月極駐車場410区画のうちパーク・アンド・ライド利用271区画。



(上) パークアンドライド募集の看板。利用率が72%程度であるなど好評だ。

## 効果

### ◆沿線9駅12箇所利用状況

※月極駐車場：区画台数408台

契約台数379台

(内訳 パーク＆ライド：274台 一般：105台)

※利用率93%（パーク＆ライド利用率72.3%）（平成16年4月現在）

## 成功の理由

- ・ 神戸電鉄最寄駅までの路線バスがない住宅地、路線バスの便数が少ない住宅地及び鉄道駅から遠い郊外に居住している利用者に対し、鉄道利用促進のための手段を提供できたこと。
- ・ 駅前に駐車場用地を確保するにあたり、三木市や都市基盤整備公団及び神戸電鉄(株)が所

有する遊休地等を活用することができたこと。

### 今後の課題

駐車場新設用地の確保が今後の課題である。

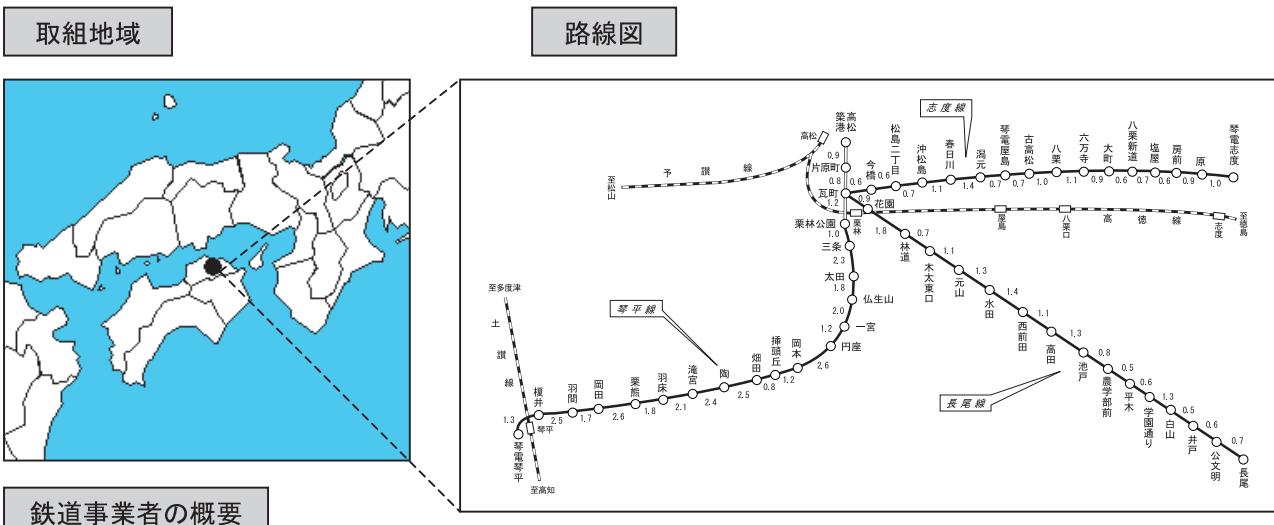
### お問い合わせ先

近畿運輸局

## 16. サイクリング列車

### 事業者名

高松琴平電気鉄道株式会社



#### 鉄道事業者の概要

・本社所在地(市町村)	香川県高松市
・営業キロ(km)	60.0
・輸送人員(千人)	13,453
・輸送密度(人/日)	5,472
・営業損益(千円)	-57,273

#### 主な沿線自治体の概要

	[人口(人)]	[増減率(%)]
・高松市	334,368	1.0
・さぬき市	56,713	-0.9
・三木町	29,479	3.6

### 概要

香川県サイクリング協会等のイベントと連携して参加者に自転車を携帯の上、専用車両に乗車し目的地最寄り駅にて下車（その後自転車でサイクリングを楽しみクイズ・ゲーム・歴史探訪など行う。）するサイクリング列車を運行。

### 協力者・関係者

香川サイクリング協会、(財)日本サイクリング協会香川支部、香川教育委員会、高松市教育委員会、さぬき市、西日本放送、KSB瀬戸内海放送、四国新聞社、朝日新聞高松支

局、読売新聞社高松総局、日本自転車振興会、香川バイオコロジをすすめる会（順不同）

## 背景

サイクリングは、『いつでも、どこでも、だれでも』気楽に参加できるスポーツであり、豊かな自然に恵まれた讃岐路を電車と自転車を利用してサイクリングすることで現在、失われつつある親子のふれあい、仲間作り、町の歴史探訪など楽しみながら地域と共に歩む「ことでん」の企業指針としての取組があった。

## 内容

- ・ 対象路線：琴平線・志度線
- ・ 実施日：平成 15 年 5 月 3 日
- ・ 運賃（往復）：
  - ・ A コース（瓦町～琴電志度）大人 800 円・小人 400 円
  - ・ B コース（琴電琴平～琴電志度）大人 1380 円・小人 700 円
- ・ 参加人数：
  - ・ A コース 大人 20 名 小人 3 名
  - ・ B コース 大人 24 名 小人 3 名
- ・ 第一回目的地 国営讃岐まんのう公園  
乗車区間 高松築港～琴電琴平
- ・ 第二回目的地 志度町大串自然公園 乗車区間 琴電琴平～琴電志度

## 効果

サイクリング列車実施が新聞等で取り上げられたことで、新体制の「ことでん」が地域連携を重要視していること、「ことでんは変わったのだ」ということが認知され、沿線で開催される各種イベントの関係者が電車との提携も視野に入れたイベントを望むようになりロマンティックサンポート企画きっぷ・商店街と連携した買い物共通券等が実現した。



（上）車両の中に自転車を持ち込む参加者達。



（上）車両の様子。自然に恵まれる讃岐時を電車と自転車で満喫できる。

## 成功の理由

- ・ 高松市は、平坦な地形で自転車の利用が盛んであり、駅近郊にはサイクリングを楽しめる風光明媚な公園、海岸線があるという環境に恵まれていたこと。
- ・ 電車を利用することで普段自転車では行くことが出来なかった場所へ小さな子供を持っている家族・仲間で行くことが可能になり、新規の需要開拓につながったこと。
- ・ 本取組においては、香川サイクリング協会から企画依頼があり、地域とともに歩む「ことでん」として、イベントを成功させるために両者の責任者が協議し実現にむけて調整を進めることができたこと。

## 今後の課題

- ・ サイクリング列車のイベントに係る事前周知（告知媒体の作成及びマスコミ等との連携強化）の徹底。
- ・ サイクリング列車のイベント参加者との自転車の受渡しが速やかかつスムーズに行える方法を検討する等、更なる利用者サービスの向上。

## お問い合わせ先

四国運輸局

## 17. えんてつレール&ウォーク

### 事業者名

遠州鉄道株式会社

取組地域



路線図



鉄道事業者の概要

・本社所在地(市町村)	静岡県浜松市
・営業キロ(km)	17.8
・輸送人員(千人)	9,239
・輸送密度(人/日)	10,916
・営業損益(千円)	262,743

### 概要

遠州鉄道線沿線の観光名所を中心年に5回以上のウォーキング大会を実施している。

### 協力者・関係者

主な沿線自治体の概要

[人口(人)] [増加率(%)]

・浜松市	575,943	2.6
・浜北市	85,465	1.3
・天竜市	22,695	-4.5

春野町、龍山村等近隣自治体との共催企画がスタート。

## 背景

平成 8 年より鉄道の利用促進のために実施。

## 内容

### ◆平成 14 年度開催（12 日間）

- |                           |      |
|---------------------------|------|
| ・ 6月 22、23日：滝沢展望台と御嶽山ウォーク | 213人 |
| ・ 9月 28、29日：青谷不動の滝ウォーク    | 180人 |
| ・ 10月 6日：さくま民話の郷ウォーク      | 150人 |
| ・ 11月 23、24日：北遠・白倉峡ウォーク   | 250人 |
| ・ 2月 22、23日：豊岡梅園・花咲乃庄ウォーク | 228人 |
| ・ 3月 16日：秋葉山（上社）ウォーク      | 82人  |
| ・ 3月 23、29日：秋葉湖と千本桜ウォーク   | 298人 |

### ◆平成 15 年度開催（9 日間）

- |                        |      |
|------------------------|------|
| ・ 6月 7、8日：夢の架け橋ウォーク    | 203人 |
| ・ 8月 30、31日：春野天狗の里ウォーク | 381人 |
| ・ 11月 2日：花の舞酒造蔵出しウォーク  | 350人 |
| ・ 11月 22、23日：白倉峡ウォーク   | 448人 |
| ・ 2月 28、29日：豊岡梅園ウォーク   | 303人 |

## 効果

### ◆参加者数等

- ・ 平成 7 年度開催（1日）：375人
- ・ 平成 8 年度開催（4日）：620人
- ・ 平成 9 年度開催（7日）：1,492人
- ・ 平成 10 年度開催（11日）：1,807人
- ・ 平成 11 年度開催（10日）：1,725人
- ・ 平成 12 年度開催（9日）：1,249人
- ・ 平成 13 年度開催（12日）：1,755人
- ・ 平成 14 年度開催（12日）：1,401人
- ・ 平成 15 年度開催（9日）：1,685人
- ・ 遠鉄バスも利用し、バスの運賃収入も得られた。
- ・ 平成 15 年度は遠鉄開業 60 周年を記念してバス部門と共同で企画、開催し、8月末か



（上）レール&ウォークの参加者達。年々参加者も増えている。

ら12月末までほぼ毎週末に開催し、レール、バス合計で3,302人の参加があった。

- ・バス＆ウォーク参加者がレール＆ウォークにも参加したため、結果として、レール＆ウォーク参加者の増加につながった。

## 成功の理由

- ・地元市町村との共催や後援により、
  - ①ウォーキング途中に立ち寄る施設の割引が受けられるようになったこと。
  - ②地元の特産品の販売や記念品の提供といったサービスを受けられるようになったこと。
  - ③参加者の傷害保険料、チラシ作成、DM通信費等の運営資金の一部負担等が可能となつたこと。
- ・バス＆ウォークにおける成功により、同参加者がレール＆ウォークにも参加するなど、他イベントとの連携による呼び水的な効果も発揮されたこと。

## 今後の課題

- ・雨天による中止が数回あったことなど、イベントの成否が天候に左右されてしまう。
- ◆今後の予定
- ・新しいコースの設定
  - ・新規参加者の掘り起こし
- ◆今後の計画
- ・年間6回を予定
  - ・より多くの利用者を集客するため宣伝や告知方法を検討中。
  - ・16年度には北遠地区5市町村（天竜市、春野町、佐久間町、水窪町、龍山村）の協力を得て、電車とバスを乗り継いだウォーキングを計画。

## お問い合わせ先

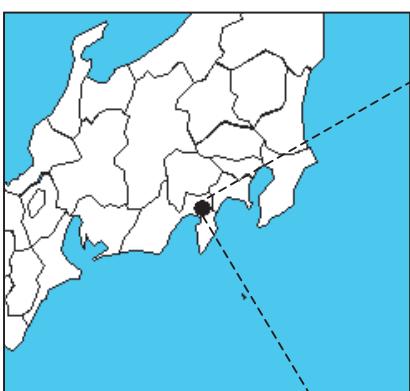
中部運輸局

## 18. 湯ツくりんぐ中伊豆

### 事業者名

伊豆箱根鉄道株式会社

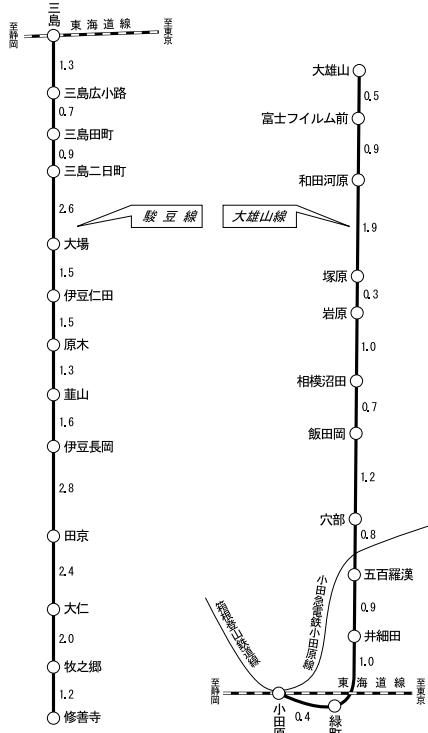
取組地域



鉄道事業者の概要

- ・本社所在地(市町村) 静岡県三島市
- ・営業キロ(km) 20.1
- ・輸送人員(千人) 8,072
- ・輸送密度(人/日) 6,309
- ・営業損益(千円) 287,988

路線図



### 概要

自転車で中伊豆地域の魅力を再発見し、温泉めぐりも楽しんでもらおうとファミリーサイクル・マウンテンバイクを65台用意、民間事業者の参加により伊豆箱根鉄道、東海交通、天城温泉会館の5ヶ所にサイクルステーションを設け新しい観光システムとして平成14年4月27日から実施。中伊豆地区広域観光システム事業推進協議会の主催事業として、伊豆長岡、大仁、修善寺(現伊豆市)、中伊豆(〃)、

### 主な沿線自治体の概要

#### [人口(人)] [増加率(%)]

- |      |         |     |
|------|---------|-----|
| ・三島市 | 111,373 | 1.5 |
| ・函南町 | 38,692  | 1.7 |
| ・韮山町 | 19,655  | 2.2 |

-----

天城湯ヶ島（〃）の5町が参加している。

## 協力者・関係者

### ◆主催

- 中伊豆地区広域観光システム協議会（伊豆長岡町、大仁町、修繕寺町（現伊豆市）、中伊豆町（〃）、天城湯ヶ島町（〃））

### ◆協力

- 伊豆箱根鉄道、東海交通、天城温泉会館、各町の観光施設、各町の入浴施設



(上)「湯っくりんぐ中伊豆」参加者募集の様子

## 背景

中伊豆地区でサイクリングを楽しむ人のために、鉄道駅にレンタサイクルを設置し、鉄道利用者の増加を図ろうとした。

## 内容

### ◆サイクルステーションの設置場所

- 伊豆箱根鉄道：伊豆長岡駅、田京駅、大仁駅  
天城温泉会館  
修繕寺駅前の東海交通（レンタサイクル予約係と配達業務を行っている）

### ◆レンタサイクル&立ち寄り湯めぐりスタンプラリー

- スタンプラリー応募者の中から毎月抽選で中伊豆特産品が当たる

### ◆レンタサイクルの利用料金（貸付料金）

- 1台／500円（税込み）／1日

貸付時に保証金1,000円を預り、返却時に返金する。

貸出返却のサイクルステーションが異なる場合は乗り捨て料金500円を收受する。

### ◆レンタサイクルの利用時間：9:00～17:00まで

### ◆サイクリングのおすすめ周遊ルート

- 伊豆長岡温泉悠々ルート、大仁まちなみルート、修繕寺温泉街周遊ルート、中伊豆周遊

## イベントによる集客

ルート、天城湯ヶ島道周遊ルート

### 効 果

- レンタサイクルの利用台数は843台（4／27～1／31の累計）  
利用者の割合 男性54.2% 女性45.8%
- 利用者の大多数は鉄道利用者であり運賃収入の増加に寄与。

### 成功の理由

- 新しい自転車を用意して貸し出したため、これまで数回のパンク以外、目立ったトラブルは発生していないこと。
- 各サイクルステーションにおいて、タイヤの空気圧等の点検を実施してから貸し出しており、安全等に配慮していること。
- 維持管理に要する費用は中伊豆地区広域観光システム協議会が負担していること。

### 今後の課題

- 周遊ルートの拡大。
- 今後、駅務の省力化等によりサイクルステーションの取扱業務のあり方について検討して行く必要がある。（例：パートタイマーへの委託業務）
- 事前に予約申込みされても当日が雨であった場合キャンセル扱いとなるが、天候については対策が講じられない。

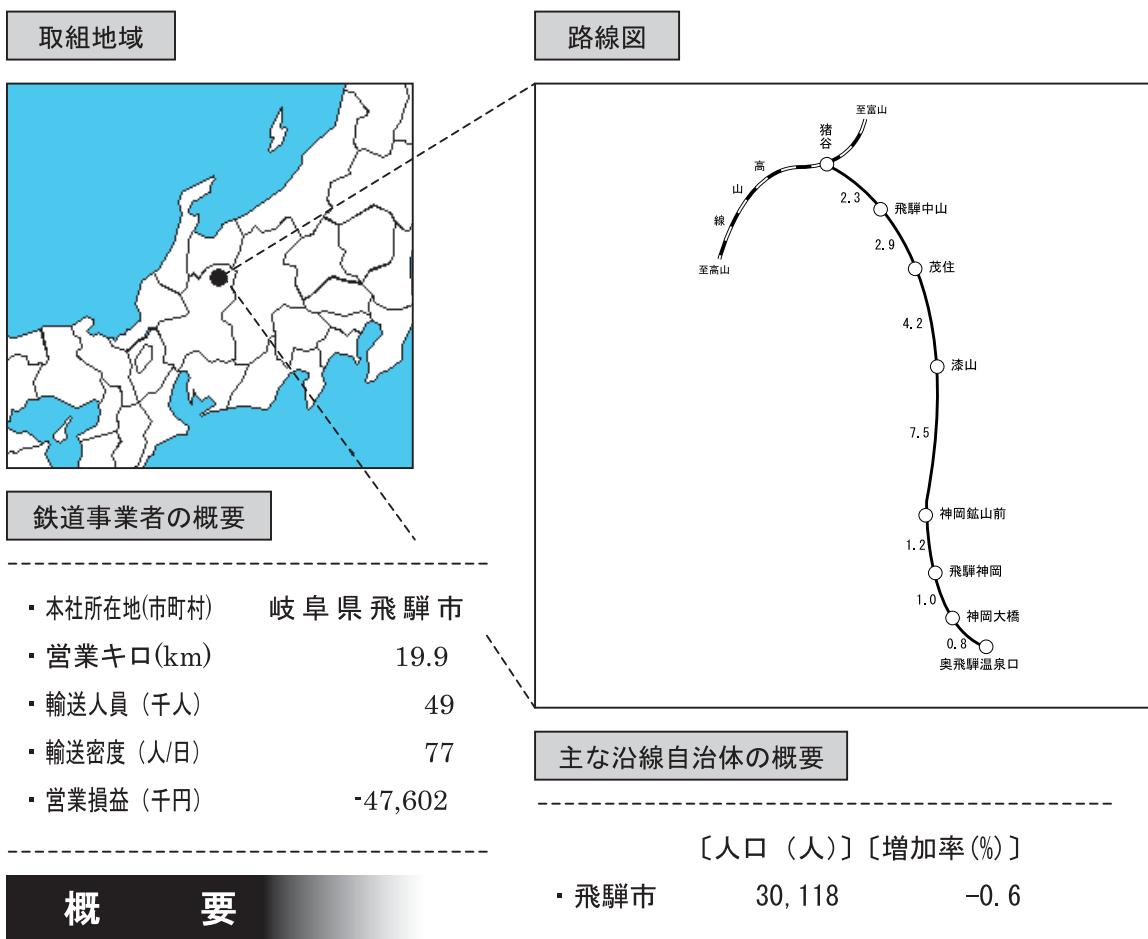
### お問い合わせ先

中部運輸局

## 19. イベント GSA（ジオ・スペース・アドベンチャー）

### 事業者名

神岡鉄道株式会社



小柴昌俊東大名誉教授のノーベル物理学賞受賞により注目を浴びることになったニュートリノの研究施設の見学と、構内での様々なイベント（恐竜地底水族館・流葉和太鼓・トロッコ体験乗車等）を実施した。

### 協力者・関係者

- ・主催：ジオ・スペース・アドベンチャー実行委員会
- ・共催：神岡町（現飛騨市）、神岡鉱業株、（財）岐阜県産業文化振興事業団、神岡鉄道株

## イベントによる集客

- ・ 協力：東京大学宇宙研究所、東京大学ニュートリノ科学研究センター、神岡商工会議所、神岡町観光協会、神岡青年会議所

## 背景

世界的に注目を浴びている研究施設の見学を要望する意見が多数あった。

## 内容

- ・ 検討会議：GSA 実行委員会
- ・ 準備期間：14年4月11日～
- ・ 会議開催回数：6回
- ・ 会議出席者：実行委員、神岡鉱業株、町職員、商工会議所、青年会議所
- ・ 会議内容：坑内イベント内容の検討、坑内の安全面の確認、コース時間設定、乗車券、チラシ等
- ・ イベント実施場所：神岡町茂住坑内
- ・ 対象路線：神岡線全線
- ・ 料金：3,500円（鉄道、バス運賃等含む）
- ・ 運行日：平成14年11月2～3日



(上)「GSA（ジオ・スペース・アドベンチャー）」参加者募集の様子。地下1000メートルの世界を体験できる。

## 効果

参加人数：963名

## 成功の理由

- ・ 小柴東大名誉教授のノーベル賞受賞が利用者の興味を増幅したこと。
- ・ 参加者の傾向として、家族、グループでの参加が多く、東海3県、北陸地域からの参加者が約8割を占め、その参加者の半数近くはラジオ、新聞、ホームページ等によりイベント開催を知った者であり、広報活動が功を奏したといえること。
- ・ 神岡鉄道協力会（地元等の18団体、173法人、600個人で組織する昭和59年4

月に設立された側面支援組織)がGSA実行委員会に参画していたことから、GSAイベントと参加者の交通手段を検討する中で、神岡鉄道を結びつけやすい環境をもつたこと。

## 今後の課題

- ・コースによって時間にバラツキがある。
- ・コース時間を一定にして、坑内のイベントをシンプル化する。

## お問い合わせ先

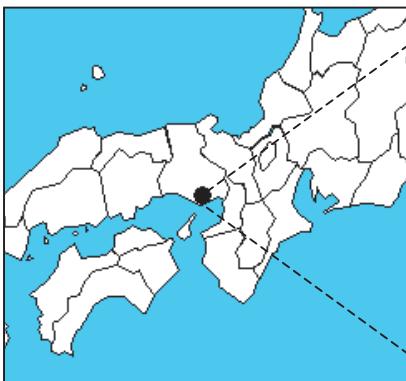
中部運輸局

## 20. 親子サマースクール

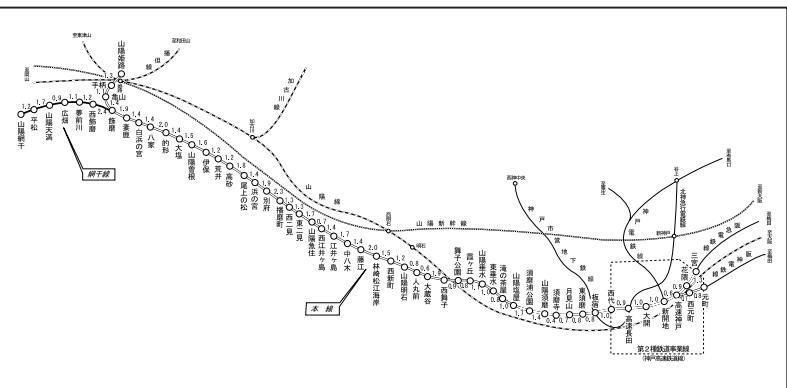
### 事業者名

山陽電気鉄道株式会社

取組地域



路線図



鉄道事業者の概要

・本社所在地(市町村)	兵庫県神戸市
・営業キロ(km)	70.4
・輸送人員(千人)	74,331
・輸送密度(人/日)	31,696
・営業損益(千円)	1,102,779

主な沿線自治体の概要

	[人口(人)]	[増減率(%)]
・神戸市	1,483,670	2.5
・姫路市	476,939	1.2

### 概要

小学生とその親を対象に、日頃個人ではなかなか見ることのできない沿線事業所や車両工場の内部を特別に見学する機会を設ける。

### 協力者・関係者

- ・主催：山陽電気鉄道株式会社  
(以前は沿線の事業所も見学していたが、平成14年度より東二見車両工場の見学に限定している。)

## 背景

鉄道利用客の減少傾向が長期にわたって続く中、将来顧客となるべき子供に、小さいころから鉄道への関心や愛着を持ってもらう必要性を認識していた。

## 内容

- ・ 実施場所：東二見車両工場
- ・ 実施日時：平成15年7月29日・30日
- ・ 参加者：両日で240名
- ・ 募集方法：ハガキでの事前申し込み
- ・ 内容：工場内部の見学（各工程の解説や洗車機通過体験など。）



(上) 受付の様子



(上) 電車に乗り込む親子達

## 効果

特に直接增收につながるものではないが、日頃鉄道を利用しない小学生や保護者に利用の動機を与え、鉄道を再認識することに役立ったと思われる。また、通常見ることのできない工場内部の見学により、小学生のみならずその保護者にも鉄道事業の一端を理解してもらうことに役立った。これが10月の「鉄道の日」関連イベント「山陽・鉄道フェスティバル」での一般の利用者への工場公開実施という形へ進化した。

## 成功の理由

小学生やその保護者に大きな負担をかけることなく、夏休みの1日に思い出となる行事である手頃さが支持されたこと。



(上) 車内での親子サマースクールの様子。  
夏休みの思いで作りに一役買っている

## イベントによる集客

工場内部の様子を公開することは鉄道への理解を深めるだけでなく、社会科見学という教育的側面も大きく、保護者にもその意義がよく理解されていること。

広報方法の工夫：車内吊りおよび駅貼りポスター、山陽電気鉄道(株)広報誌「エスコート」への掲載による募集のほか、新聞にも募集記事を掲載した。サマースクール自体、以前より実施していることから参加者の認知度が高く、現在の広報方法が十分功を奏していること。

## 今後の課題

駅からアクセスが良く見学受け入れ可能な沿線事業所が限られている中で、飽きられないよう見学先を探し、内容を見直すことが難しい。こうした理由もあり平成14年以降、山陽電気鉄道(株)の車両工場の見学に限って実施している。

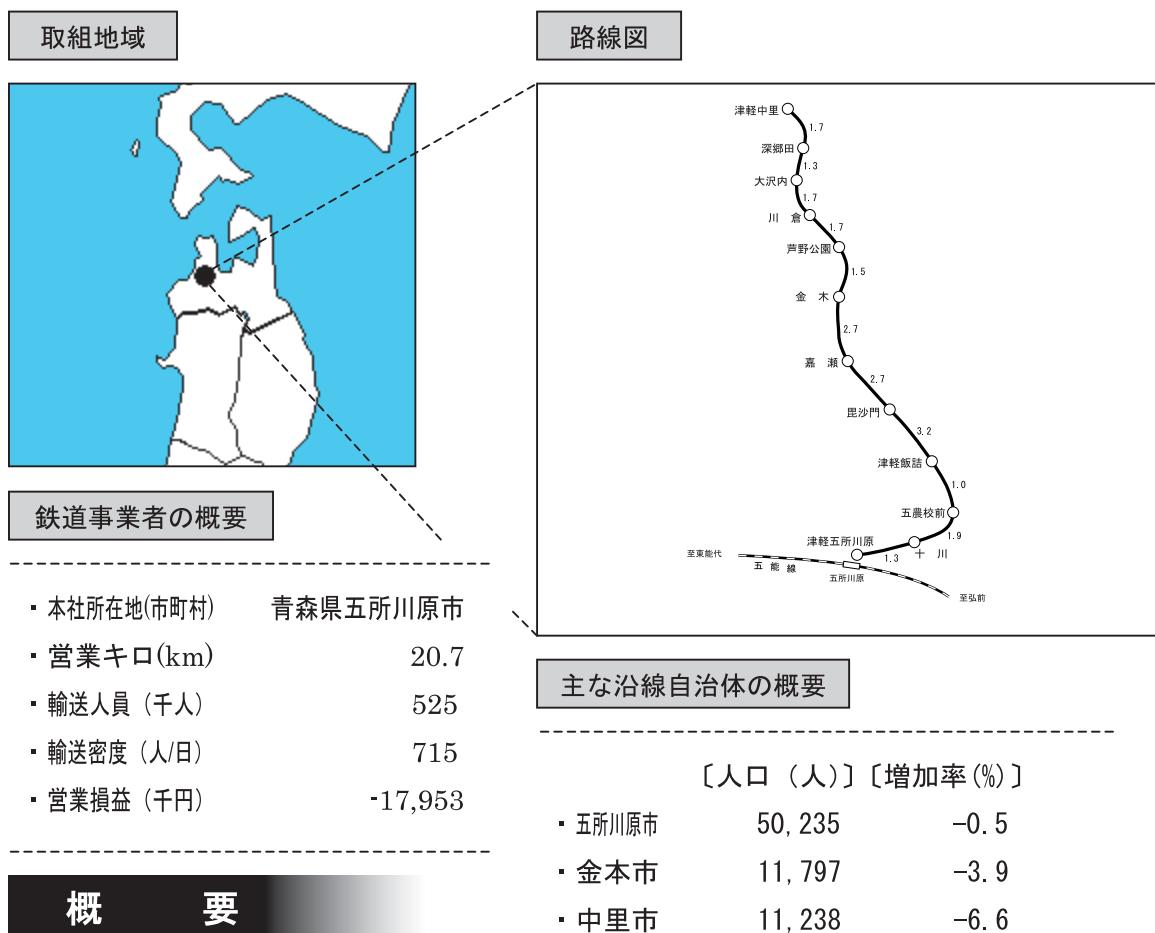
## お問い合わせ先

近畿運輸局

## 21. 真夏のストーブ列車

### 事業者名

津軽鉄道株式会社



### 協力者・関係者

- ・ のれ！それ！中里実行委員会（町おこし団体）

## 背景

沿線の夏祭り見学に訪れる県外からの観光客に、冬期間のみ運行される「ストーブ列車」に乗車してもらい、終点の中里町まで観光客を運びたいという町おこし団体により実行されている。

## 内容

五所川原市の夏祭り「立倭武多（たちねぷた）」開催中の1日1便、津軽五所川原・津軽中里間で運転される。参加費は乗車券代を含めて1人2,000円で60名限定。参加券は前売りされるが、当日販売分も用意されている。ストーブの焚かれた車内では、登山囃子が演奏され、終点の津軽中里駅では津軽者三味線の生演奏が到着を出迎える。また、アイスクリーム・するめのサービスがある。地元特産物を始め、ビール、おつまみ等の販売もあり。



ユニークなチケット（上）と、暑さを我慢する乗客たち（下）。我慢大会的要素を持たせた逆転の発想が受け入れられている。

## 効果

駅前で登山・ねぷた囃子の演奏で参加者を募るなど、祭りの雰囲気の盛り上げに一役を担う。また「立倭武多」開始までの待ち時間でのイベントのため観光客にそのユニークさと地元の人々との交流に大変喜ばれている。貸切列車での運行のため毎年固定収入がある。

## 成功の理由

- 冬限定の「ストーブ列車」を真夏に運行するという我慢大会的要素を持たせた逆転の発想が受け入れられたこと。
- 津軽三味線、笛、太鼓による登山囃子など地元芸能を鑑賞することもできる点が受けていること。
- 県外からの観光客にとっては、主催者の飾らない津軽弁での交流等が魅力的であること。
- 車内でストーブが焚かれていることから、乗客の安全面の確保には特に注意が必要である。

り、また、途中駅でトイレ利用の際に乗降りする利用者の確認等を乗務する車掌が行っているが、こうした管理が行き届いていること。

## 今後の課題

主催者の都合から開催日が1日のみとなっているので、祭り期間中の開催を検討。

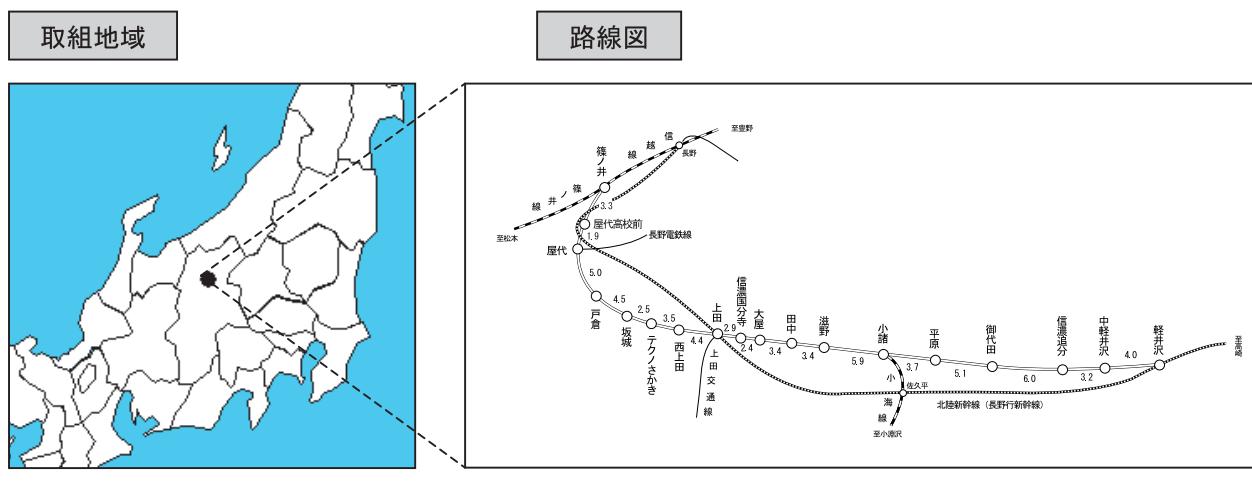
## お問い合わせ先

東北運輸局

## 22. 各種イベント列車の運行

### 事業者名

しなの鉄道株式会社



### 鉄道事業者の概要

・本社所在地(市町村)	長野県上田市
・営業キロ(km)	65.1
・輸送人員(千人)	11,529
・輸送密度(人/日)	7,939
・営業損益(千円)	-305,605

### 主な沿線自治体の概要

	[人口(人)]	[増減率(%)]
・長野市	359,100	0.9
・上田市	121,809	-0.1
・千曲市	64,838	-0.2

### 概要

鉄道による輸送を、旅客輸送に限定することなく、利用者ニーズに応じたイベント列車を企画し、毎月2~3本の頻度で運行を行っている。夏に行われた「地ビール・生ビール列車」のように、車両内スペースの有効活用を行うなど、これまでにない斬新なイベントの創造に努めることにより、利用者の増加、しなの鉄道に対する理解の増進につなげる。

### 協力者・関係者

- ・しなの鉄道株式会社
- ・沿線企業その他

## 背景

平成14年7月に発表した、しなの鉄道20の改革メニューの一つで、しなの鉄道のイメージアップを図り、沿線の美しく豊かな自然環境や多彩な地域文化、魅力ある観光資源を利用し、地域沿線の特色を生かした列車を走らせ、「乗って・見て・楽しむ」「しなの鉄道はいつも何かをやっている。しなの鉄道に行けば何か楽しいことがある。」という情報を発信し、首都圏及び沿線利用客への誘客周知を行っている。



(上)「地ビール・生ビール列車」参加者の様子。四季折々のイベントを企画し、利用者のニーズに応えるべく努力を続けている。

## 内容

- ・ 対象路線：しなの鉄道線
- ・ 実施時期：平成14年8月から
- ・ 価 格：5000円程度
- ・ 参加人数：128名
- ・ 開催状況：毎月2～3本を運行
- ・ 企画内容：これまでに行われた企画：「お花見列車」「地ビール・生ビール列車」「沿線観光地の散策列車」「子供向けヒーロー列車」等を運行。



(上) 鉄道車内が演奏会場に変身。本物のコンサートホールより迫力がある?

## 効 果

### ◆平成15年度の運行状況

- ・ イベント列車の運行本数：27本
- ・ 一回あたり運行人数：130名程度
- ・ 利用者の反応：ほぼ全列車満員の利用状況。

## 成功の理由

- ・ 毎月2～3本の頻度でイベント企画列車を運行し、飽きられない企画の開発に努めている

## イベントと連携した臨時運行

ること。

- ・四季折々のイベントを企画し、利用者のニーズに応える企画を開発していること。  
例) 内容については季節感や利用年齢層等を考え、
  - ・春には「お花見列車」「沿線観光地再発見のたび」
  - ・夏には「地ビール・生ビール列車」
  - ・秋には「ワイン列車やウイスキー列車」「沿線観光地の散策列車」
  - ・冬には「宴会列車やクリスマス列車」「子供向けヒーロー列車」等を運行。
- ・しなの鉄道沿線の観光地特産品等の宣伝及び地域や企業と連携し、首都圏からの誘客宣伝及び沿線利用客への誘客をしていること。

## 今後の課題

- ・来年度以降も継続して運行。
- ・これまでに行った企画列車の経験をもとに、新たな商品の企画に努め、利用者の増加を図る。

## お問い合わせ先

北陸信越運輸局